



<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2020年3月4日

インドネシア預金準備率の引き下げ

インドネシア中央銀行は預金準備率を引き下げた。流動性を拡大させ、国内初の新型コロナウイルス感染者が確認されて売り圧力に押されている金融市場を安定させるため。

3月16日より、中央銀行にドル建て資金を保有する銀行のドル建て預金準備率を、現行の8%から4%へ引き下げる。4月1日以降は、輸出入業者の顧客を抱える銀行のルピア建て預金準備率を0.5%引き下げる。

外貨建て預金準備率の引き下げは32億ドルの流動性拡大となり、ルピア建て預金準備率の引き下げは貿易活動の下支えとなる。

以上